



東風

○月○日

『明るく伸びる子』

○考える子 ○助け合う子 ○やりぬく子
○じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和3年 10月 11日発行 第8号

《令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果について》

5月27日に全国の小学校6年生と行われた「全国学力学習状況調査」ですが、小学校では、国語・算数の2科目での実施となりました。

今年度、東小学校としましては、国語・算数ともに全道・全国をわずかに上回る正答率となりました。

算数・国語の調査のほか、児童の生活や学習の様子、自分自身のことについて答える「児童質問紙」についても実施しました。

以下に、今年度の岩内東小学校における調査結果の概要と、今後の指導の重点などについてお伝えいたします。

《国語の結果》

全部で14の設問数でした。岩内東小学校の平均正答率は65%で、全道よりも2割、全国よりも0.3割、それぞれ上回り、全国平均とほぼ同等の水準となりました。

【全道・全国を上回った主な設問】

- 話の組み立てを理解して適切な文の組み合わせを選ぶこと
- 資料を用いて説明することの目的を理解して話すこと
- 目的に合わせて、大切な言葉を落とさずに要約すること
- 文の中の主語・述語の関係を捉えること
- 漢字の書き取り

【全道・全国を下回った主な設問】

- ▲文の中の「修飾語」「被修飾語」の関係を捉えること
- ▲文章と図表を結びつけて、図表の中から必要な情報を見つけること

【分析と今後の課題】

集計データからは、全道・全国に比べ「無回答率」も低く、問題に向き合う児童の前向きな姿も見て取れました。今後は、学年の発達段階に応じて「身の回りの出来事や資料と関連付けて」書いたり、読んだりする活動を取り入れながら学習していくことが大切なのではないかと考えられます。

(例) 絵を見ながら説明をする 新聞記事と写真を関連させながら発表する など

《算数の結果》

全部で16の設問数でした。岩内東小学校の平均正答率は71%で、全道よりも4%、全国よりも0.8%、それぞれ上回り、全道平均よりやや高く、全国平均とほぼ同等の水準となりました。

【全道・全国を上回った主な設問】

- 条件に合う時刻を求めること(例:「○時○分の○分後の時刻は?」)
- 速さ・道のり・時間の関係を理解し、式を立てること(本校の正答率は100%)
- 三角形の面積の求め方を理解し、答えを求めること
- 三角形の面積をもとに、それらをいくつか組み合わせた図形の面積を求める方法について説明し、答えを導き出すこと
- ぼうグラフの性質を理解し、数量を読み取ったり、二つ以上の項目の関係を読み取ったりすること(本校の正答率は100%)
- 二次元表を適切に読み取ること
- 表の内容を理解し、必要なデータを見つけ出すこと

【全道・全国を下回った主な設問】

- ▲地図の中から、二つのルートの道のりの差を求めるために必要な数値を見つけ、求め方を説明すること
- ▲速さを求める式と答えの意味を考えること
- ▲帯グラフに示されたいくつかのデータを比べ、特徴を見つけ出すこと
- ▲小数倍について理解し、基準量を1としたときの割合について考えること

【分析と今後の課題】

国語同様、全道・全国に比べ「無回答率」が低い状況でした。基礎的な力は概ね身に付いていると考えられるので、今後は学年に応じて「資料から必要な情報を選ぶ」活動、「他者の考え方をかみ砕いて理解する過程」を位置づけた学習が大切になると思われます。

《児童質問紙から分かる傾向》

※以下の文章中の数値表記は(あてはまる・どちらかと言えばあてはまる)の合算です

- 90%の児童が毎日(ほぼ毎日)朝食を食べています。
- 「自分には良いところがある」と思っている児童の割合は全国平均とほぼ同等、全道平均よりもやや高い(76.7%)でした。
- 全道・全国に比べ規則正しい生活リズム(決まった時刻に寝る:90%・決まった時刻に起きる:96.7%)を保っている児童の割合が高いです。
- 「新型コロナウイルスによる休校中、規則正しい生活ができた」と答えた児童の割合は86.7%で、全道(59.9%)、全国(63.1%)と比べても非常に高い水準になりました。
- △「むずかしいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」と答えた児童の割合は70%と、全道・全国に比べやや低く、その中でも「あてはまる」と答えた児童が20%でした。

☆生活環境や生活リズムが、学校生活の充実や学力の向上に関係するという調査結果もあるようです。今後とも、望ましい生活環境作りにご協力をお願いいたします。

